

みんなとともに笑顔いっぱい



# みんなとともに



あの“暑かった夏”は、遠い記憶となってしまいました。8月27日(月)から始まった2学期は今日で終わりです。学校は「集団」の中で磨き合って成長していく場です。楽しいことばかりではなく、つらいこともあったことでしょう。でも、家庭でパワーをチャージして、子どもたちは登校を続けました。家庭の支えがあつての学校生活、2学期のご支援に感謝申し上げます。



## 「2学期 終業式」での校長の話

2学期は、始業式も、全校朝の会も、そのほかの行事でも、いつも同じ話をしてきました。何だか分かりますか。そうですね、「清明魂 -みんなとともに-」です。

この「清明魂」は、皆さんが考えた運動会のスローガン「自分の力を出し切って 清明魂見せつけろ! 優勝目指してがんばろう!」を見たときに、とてもよい言葉だと思ったので、使わせてもらいました。

では、2学期のみなさんの姿から「清明魂」を感じた場面を3つ紹介します。



1つめは、「市陸上競技大会」での「優勝」です。四連覇を成し遂げました。選手壮行会では、4年生を中心に全校生でエールを送りました。これに対し、選手を代表して森口さんが、「優勝旗を持ち帰ります」と宣言しました。そして、本当に優勝旗を持ち帰りました。まさに、みんなとともに勝ち取った優勝でした。

2つめは、「学習発表会」での「心を一つにした発表」です。1年から6年までの各学年の発表、わかば学級の太鼓と、どの発表も見る人を感動させました。それは、誰か一人のがんばりではなく、全員ががんばって、みんなとともに大きな力を生んだからだと思います。「いざ開演 清明魂 ここにあり!」まさに、清明魂がここにありました。

3つめは、「勉強」です。清明小学校では、授業の中での「学び合い」を大切にしています。11月に行われた学校訪問では、理科の「てこの授業」でつり合う方法をグループで考える場面がありました。音楽の授業ではリズムをグループで考える場面がありました。体育のマット運動でも学び合いの場面がありました。勉強も「清明魂 -みんなとともに-」の気持ちでがんばりましたね。



そして、もう一つ「心に残る場面」があります。2学期は「清明魂」の話でしたが、1学期は「陰徳」という話をしました。その姿が見られた場面です。それは、「落葉のかたづけ」です。朝の時間や休み時間に、6年生を中心に進んで「落葉のかたづけ」をしてくれました。そして、「自分はかたづけをしてえらいでしょ。」などとは決して言わないで、自然に振る舞っているところがすてきたな、と思いました。これも、もしかすると、「清明魂」の一つかもしれません。

これから冬休み、そして3学期と続いていきますが、1学期の「陰徳を積む」2学期の「清明魂」に続く第3弾の合い言葉は「笑顔」にしようと考えています。

それでは、「笑顔」で3学期始業式を迎えられるように、充実した冬休みになることを願って、話を終わります。

あるとき、3年生に「校長先生も話をするときは、本を見ているのですか」と言われました。「校長講話」の参考書が売られているということ、どうもテレビでやったようです。今回の終業式の話は「オリジナル」です。というよりも、いつも自分で話を考えています。「清明魂」の話をすると「またか」という声子どもから聞こえてきそうですが、校長の話を覚えてもらっているのは、とてもうれしいことです。